



ぼらんていあ通信

10月号
通巻 No.527

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年10月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>



ほかほかふれあいフェスタ2025

さがみはら健康フェスタ&パラスポーツ体験会と同日開催

演じる人も見る人も、肌寒い小雨の中で心温まる時間を



あじさい会館ホール編

【開会式】

2025年10月11日10時から小雨の中、ほかほかふれあいフェスタがさがみはら健康フェスタ、パラスポーツ体験会と合同で開催された。ホールの開会式では恒藤実行委員長（ボラ協会長）が「ほかほかふれあいフェスタは長年受け継がれて今年で45年目、ふれあう喜びで共生社会を目指して頑張っていきたい」と挨拶され、来賓の本村市長から「本年健康つくり条例施行今年是デフリンピックの年、来年2月のNHKのご自慢の開催への出場呼びかけなど」力強くご挨拶をいただき、さらに大槻市議会議員、笹野市社会福祉協議会会長のご挨拶と武石社会福祉事業団理事長のご紹介を行った。途中マスコットキャラクターの「さがみん」、「サガピー」が登場した。



本村市長からは楽しいに挨拶を

その後主催側の登壇の方々の紹介に続き鈴木副実行委員長（連協会長）のご挨拶によりセレモニーは閉会した。

【ホール午前の部】

セレモニーの後10時45分から午前の部の演技に入った。

1. 「星が丘鼓笛隊」ほかふれフェスタ初めての出演8人編成で「星空のディスタンス」など数曲素晴らしい演奏だった。

2. 「松が丘園」よさこいソーラン節のメンバーは約男女10人で松が丘園の自立訓練事業に参加している集まりでたくましい乱舞、ソーラン節を踊ってくれた。



初参加の星が丘鼓笛隊



さがみん&サガピー！

【ホール午後の部】13時から

1. 「花言葉」聞こえない人たちが聞こえる方達と一緒に相模原で活動する手話ダンスグループです。今日は9人で「忘れな草をあなたに」など6曲を踊ってくれた。

2. ヒップホップダンス「S.N.D.F」。幼児から小学校高学年までのグループが、それぞれ「フンポの速い曲に乗って元気いっぱい踊って」



れた。メンバーは相模原に80人おり毎月2回練習している。

3. 「コールジェネシス」視覚障害者協会に属する「コーラスサークル」で視覚障がい者7名、賛助会員7名のグループ。2回目の参加で「真つ赤な秋」や「遠くへ行きたい」など3曲歌ってくれた。

最後に、ホールの渋谷部会長の挨拶で閉会となった。（荒谷・高橋）

あじさい会館内編



あじさい会館1階ロビーでは今年も相模原中央支援学校の生徒さんの見事な作品が！ いろいろな色を自分たちで選んで染めた折り染めやマーブリング、うちわはロビーを華やかに彩っていた。

今年初参加の障害者地域作業所等連絡協議会のワークショップコーナーでは、ビーズアクセサリーや機織り体験などに大人も子どもも楽しそう。

相模原市里親養育包括支援センター「ふうせんかずら」では、クイズ形式による里親制度のチラシ配布と相談会が行われ、多くの方が足を止めて関心を寄せていた。

スタンプリリーの受付では、今年もさがみはら若者サポートステーションの皆さんが、来館者用纸を手渡ししながら丁寧の説明していた。



6階会場では、雨天のため6階に市役所本館前から場所を移してオートバイがやってきた。「オートバイ乗車体験」というイベントで補助輪付きの本物のバイクに乗り、6階の廊下をスタッフがついて一周するというもの。バイクはスロットルを握るとモーター音や振動が乗っている人に伝わり、子どもたちに大人気。途切れることなくバイクの周回が続いていた。もともとと障がいがある方のために始めたこのお話を代表の方に伺い、あとで名刺を見たらなんと元世界チャンピオンのオートレーサーの方だった！

神奈川県フィットセンターのブースはサウンドテーブルテニス（卓球）体験。ベアリングの入った音の出るボールをラケットで転がして打ち合うゲームだ。目を閉じて体験させてもらったが、案外に難しい。細かいルールがあつて世界大会もあるそう。

eスポーツとしてマットス体験もあり、玉を投げるのはもちろん頭もかなり使う。緑風園の利用者の方もスタッフとして参加。

以上の3つは広い展示室で仕切りのパネルなしで開催、例年よりにぎやかな雰囲気です。「フェスタ」らしさが感じられた。

エレベーターに近い部屋では拡大写本の活動紹介の展示、点訳体験や点訳活動の紹介と点字の反故紙を使った工作のブースがあつた。工作は使用済みの点字の凸のある端紙を素材としてかわいい魚の飾りや籠を作るもので訪れた人は自作の作品を手に満足そう。フェスタの雨は6階にたくさんの人を運んでくれたようだ。（杉崎）



ウェルネスさがみはら前広場編



肌寒い小雨の中にもかかわらず、ウェルネスさがみはら前広場の各テントでは、熱気があふれていた。焼きそば、フランクフルト、ポップコーン、コーヒーなどの美味しそうな香りが漂い、お風呂蒸気立てパン



が届くと、傘の下の来場者の顔には笑顔が。

魚釣り、けん玉コーナーなどは親子連れがチャレンジ。バザーや野菜、自主製品販売なども、傘を差しながら皆さん真剣に品物定めをしていた。

ステージでは、雨対策として音響機器にビームルカバーを付けてスタート！ ウクレレマイスターズと、チョップスティックによるバンド演奏では、雨が上がること願って「きつと明日はいい天気」や桑田佳祐の「明日晴れるかな」が力強く歌われた。ルパン三世が流れると、体リズムを取る小さな男の子には、周りの皆も思わず一緒に体を動かしている。けやきの会の皆さんも歌に合わせてけん玉で参加！

最後はよさこいグループ絆のよさこい・ソーラン。「障害があつても雨が降っても踊ります」の合図とともに、力強いパフォーマンスを披露。

ボランティア協会のテントは、あいにく雨漏りがひどく、傘でカバーしながらの対応となったが、玉コンニャクは完売。インドアーティストのロバさんによる似顔絵コーナーも人気で、小さな国際交流が生まれていた。

雨の中、ボランティアの方たちは最後まで参加してくださり、この力があるからこそ、フェスタの思い「みんなが楽しむ」が実現できているのだと改めて感じた。（恒藤）



ボラ協ブース

市内グループ訪問記

ガザマシマ

里親会のふっせんかすらを訪ねて

Part1



「ほかほかふれあいフェスタ」であじさい会館ロビーの里親制度啓発ブースを訪ねました。応対いただいたのは、相模原市里親養育包括支援センターの里親リクレーター内山さんと里親等委託調整員で、こども里親のマッチング担当の田中さん。

相模原市には里親さんが100組以上いて約50人の里さんがいます。里親さんを募集中です。

読者の皆さんには「子どもボーリング大会」に参加いただいた「中心会」と「相模原南児童ホーム」の児童の皆さんを以前ご紹介していますがこちらの所属です。



内山さん(左)と田中さん

10月は全国里親月間。里親制度の理解を深めるために国が位置づけているもので相模原市は各所で啓発活動をしています。こちらのブースでは里親制度についての案内や活動内容の詳細のパンフレットを配布しています。お時間がある方には里親クイズをお願いしています。・里親はこどもを選んで引き受けることができます。・里親には国や市からこ



もの養育費用の支払いがある。ほかにも8つのクイズがあります(中段に掲載)。クイズに参加すると、ボールペンを貰えます。

里親制度のクイズです。解いてみてください。(○か×)

1. 相模原市に里親は100組以上いる。
2. 里親が多い区は南区である。
3. 共働きでも里親になれる。
4. 里親には国や市からこどもの養育費の支払いがある。
5. 実子がいても里親になれる。
6. 里親になるための研修がある。
7. 里親になるには子育ての経験や資格が必要である。
8. 里親はこどもを選んで引き受けることができる。
9. 里親同士が支え合える仕組みがある。
10. 里親には施設の子を預かる活動や緊急に一時的に預かる活動もある。

1. ○ 2. ○ 3. ○ 4. ○ 5. ○ 6. ○
7. × 8. × 9. ○ 10. ○



クイズに挑戦する来場者



社会福祉法人中心会 相模原市里親養育包括支援センター

「ふっせんかすら」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 5-1-20 南栄ビル 402

TEL: 042-704-8433

E-mail: minami-satooya@chusinkai.jp



「ふっせんかすら」とは植物の名前で、相模原市の里親会のシンボルマークです。花と葉は「あなたと共に、あなたと飛び立ちたい」。里親さんを支える意味を込めて名付けたそうです。種を包む胞子が風船のように里親家庭を「ふわっ」と包み込める組織でありたいという想いからです。

あじさい会館1階に皆さんもご存じの売店「バオバブ」がありますが、内山さんはこちらのメッセージカードを利用して里親さんにお手紙を送っているそうです。「季節を感じる切り抜きのあるカードはおしゃれで温かくたた飾るだけでも素敵なので利用しています」とおっしゃっていました。

機会を調整します。

・里親リクレーターは広く市民に里親制度を知ってもらうための啓発活動や里親新規開拓に向けた活動を行います。里親希望者の面接、家庭訪問等を行います。

今回は相模原駅近くの相模原市里親養育包括支援センターをお尋ねして具体的な活動について取材するお約束をいたしました。次号でご紹介したいと思います。

(高橋 荒谷)

理事会報告

10月16日(木)(理事7名出席)

一、報告・連絡事項

〈広報委員会〉

・ぼら通9月号と秋講座チラシと合わせて9月25日に発行

〈事務局委員会・HCC委員会〉

・運転者研修会を開催し、実施結果を反省・検討した。

〈HCC委員会〉

・福祉有償運送運営協議会への提出書類を準備中。

・南区地域福祉交流フアンジでのフアンジふくしままつりでは、車いす体験がにぎわった。

〈講座検討委員会〉

・運転ボランティアを募集する秋講座を計画中である。

〈傾聴委員会〉

・傾聴ボつ活動者の懇談会を11月28日に開催する。

〈映像企画実行委員会〉

・秋講座で利用するハンディキャブ活動の概要をまとめた動画を制作中。

〈その他〉

・ほかほかふれあいフェスタは小雨の中決行。今後、実行委員会でも来年に向けて反省会を行う。

二、審議事項

〈旅費支給細則の改訂〉

・役員および各委員会委員が、理事会および委員会に出席した場合の交通費「役員等活動旅費を一般の活動旅費と同額とする」とした(10月1日付改訂)。

〈その他〉

・「あじさいフェス2025」は来年9月6日〜7日に開催。これに参加するつもりだ。

次回理事会 11月12日 午後1時30分から



相模原ボランティア協会 11月の予定



日	時間	内容
4(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
6(木)	15:00~	講座検討・映像企画合同委員会
11(火)	16:00~	幸せの黄色いレシートキャンペーン(イオン橋本)
12(水)	13:30~	理事会
13(木)	10:00~	ほかほか役員会
14(金)	14:00~	養成講座(運転ボランティア講座)
15(土)	13:00~	事務局・ハンディキャブ合同委員会
	15:00~	ハンディキャブ委員会
25(火)	10:30~	ぼら通11月号印刷
	13:00~	ぼら通11月号発行
28(金)	10:00~	傾聴懇談会
29(土)	12:00~	障害者週間キャンペーン(サンデッキ相模大野)

障害者週間キャンペーン開催

日時: 11月29日(土)

12:00~15:00

場所: 相模大野駅北口サンデッキ
障害者週間にちなんだ展示や資料配布を通じて、キャンペーン活動を行います。ステージではパフォーマンスも予定されており、木工品などの販売もあります。ぜひお立ち寄りいただき、楽しいひとときをお過ごしください♪



11月の記念日は?

小倉義男

11月15日は、のど飴の日です。

1981年(昭和56年)11月に、日本で初めて商品名に「のど飴」と名のつくのど飴「健康のど飴」を発売したカンロ株式会社が制定。2011年の発売30周年を記念したもの。日付は発売月の11月と、11月中旬より最低気温が一桁になり、のど飴の需要期になること、11と15で「いいひと声」と読む語呂合わせなどから。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

これからの必需品ですね。

小倉画



秋講座のお知らせ!

外出支援!! 運転ボランティア講座
車の運転が好きな方大募集!!

11月14日(金) 14:00~16:00

市立あじさい会館6階 第1展示室

「福祉有償運送」事業では、ハンディキャブ号や個人所有の車両を活用し、一人では外出が困難な方の外出支援を行っています。しかし今、運転ボランティアが不足しています。お友達にお声掛けをよろしくお願いします。

ラウンジふくしまついで車いす体験

南地区地域福祉交流ラウンジを利用する団体が参加して9月27日、福祉まつりが開催され、当協会は活動紹介の映像放映とパネルの展示、車いす体験で参加しました。

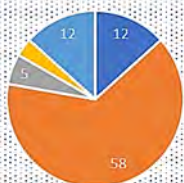
車いすは大人用、子供用の2台を用意、スタッフ4人で対応しました。

開会セレモニーが始まる前から車いすの前に子供さんたちが興味を示して集まって来たので時間前に体験開始。

子供さんを乗せお母さんが押して会場付近を行ったり来たり。「思ったより軽いですね」「乗心地が良かった」。小学生は一人での体験。「まっすぐ進むのが難しかった」「向きを変えるのが難しかった」「車いすに乗っている人は大変だなということがわかった」……。

車いす体験者年齢

- 小学生未満
- 小学生
- 中学生
- 高校生
- より以上



体験後の感想

- 楽しかった
- 疲れた
- 乗り心地が良い
- 操作が簡単
- 軽くて驚いた
- 大変さがわかった
- 難しかった
- 怖かった
- 勉強になった
- その他



この日の体験者は90名。おもちゃ代わりに体験した小学生もいましたが皆さん貴重な体験ができたようでした。体験後に書いていただいた感想の数も67枚に。次回はもう一台増やそうかとの意見も出てスタッフも充実した一日を過ごしました。(白倉)



ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<9月の寄付者>

2名の方からご寄付をいただきました。

<9月の寄付金>

総額4,000円でした。



傾聴ボランティア懇談会のお知らせ

日頃から傾聴ボランティア活動にご参加いただく皆さんから、同じ活動に参加される仲間と話し合う機会はないかとたくさんのお声が事務局に届いています。

この度傾聴メンバーの懇談会を計画いたしましたのでご案内いたします。傾聴の仲間つくりのため皆さまぜひご参加ください。

- 日時 令和7年11月28日(金) 10時~12時
- 会場 あじさい会館6階ボランティア活動室
- 内容 メンバー顔合わせおよび交流

活動上の困りごと

あれこれ相談したいという何でも

傾聴委員会 西本

お知らせ

「寄付をお待ちしています!!」

「寄付者は税制面での優遇措置」

ボランティア協会は、認定NPO法人として認証されており、税制面で優遇措置が受けられます。

12月までに寄付をしていただくことと今年分の確定申告に間に合います。

詳細は、当協会にお問合わせください。

認定NPO法人相模原ボランティア協会

電話 042・759・7982

会員の皆様には、ゆうちよ銀行の払込取扱票(手数料協会負担 ※但し、現金でお払込みの場合は別途手数料百十円がかかります)を同封しましたので、ご利用下さい。

よろしく願っています。

ボランティアさん募集！

サウンドテーブルテニスのお手伝いボランティア募集！

視覚に障がいがある方が行う「サウンドテーブルテニス」のラリーの相手やボール拾いをしてくださる方を募集します。（※音の鳴るボールを使って行う、視覚障がい者向けの卓球です。ネットの下のすき間をボールを転がしてラリーを打ち合います。）

場所：けやき体育館（中央区富士見6-6-23）

日時：①毎月第1、3月曜日 午後1時～3時

②毎月第2日曜日 午前9時～正午

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042（786）6181

FAX 042（786）6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ふれあいサービス協力会員募集！

高齢や障がい等で日常生活でお困りの世帯へ、有償のボランティアが家事や外出付き添いなどの支援を行う支援あい活動です。1時間につき800円の謝礼が支払われます。詳しくはホームページをご覧ください！

＜協力会員入会説明会＞

日 程		会 場
令和7年 12月12日（金）	午前9時30分～	中央区：あじさい会館2階 南区：南保健福祉センター1階 緑区：緑区合同庁舎2階、城山・津久井 ・相模湖・藤野各総合事務所
令和8年 2月17日（火）	午後1時30分～	

＜HPはこちら＞



※緑区各総合事務所は随時実施します。詳しくはお問い合わせください。

【問合せ・申込み先】

相模原市社協 ふれあいサービスセンター：☎042-756-5098



《今月のイラスト

…癒しのひととき。

これがあるから頑張れる》



大好きな
カフェで
ひと休み ♡

山口尚美画

編集後記

金木犀の芳香が街中に漂う。この香りで麻痺していた自分の季節感が目覚めてきた。台風の雲のすき間に覗く青空の高いところにはすうりと流れる絹雲。思い切りの深呼吸できる爽やかな大気。丹沢に沈む夕日。店先には秋の実りが手ごろなお値段になってござりと。「ザ・日本の秋」は心身が洗われるような心地がする。この一つのはおかげさか。

月初めに三嶋大社へ参詣した。鳥居をくぐる前から空気が甘い。境内にあったのは天然記念物に指定されている樹齢1200年の金木犀の太木。高さはないが泰然としたたたずまいで黄色の花をつけている。時には2里（8キロ）先まで香ったという。異常気象と言われるこの夏の酷暑の中も花をつける準備を黙ってしていたのだなあと思い至り、お社より先に手を合わせて拝んだ。

タベは寒かった。短そこの季節、せつせと秋見つけをして楽しむと思つ。（杉）